

令和5年度第3回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

令和5年度 第3回徳島県いじめ問題等対策審議会について

1 開催日 令和6年1月15日（月）午前10時から正午まで

2 協議内容

- ・「ネットいじめ・トラブル防止啓発資料（デジタルリーフレット）」、「つながりリレー動画」について報告
- ・「令和4年度の児童生徒の問題行動・不登校調査」について説明
- ・「いじめの未然防止と早期発見、早期対応」について意見交換

3 各委員からの主な意見

◇デジタルリーフレットについて

- ・いじめなどの問題に対して、画像を通して考えを深められる良い教材である。
- ・使いやすいので子どもたちが積極的にディスカッションできる。

◇学校について

- ・お互いに良いところを認め合えるような言葉かけや、子どもたちを認める活動を実施している。
- ・いじめに対応できる強い学校にするため、働き方改革の取組を進めてほしい。

◇保護者について

- ・家庭の問題がいじめにつながるケースがあるので、いじめの芽となる早い段階で相談してほしい。
- ・成長とともに子どもから話を聞くのは限界があるので、保護者間での情報交換は有効である。

◇いじめの認知件数について

- ・認知件数が増加してもきちんと解消されれば良い。
- ・徳島県は解消率が全国平均を上回っており、先生方はすごく頑張っている。
- ・認知件数が多いことが悪いことではないということを一般の方はあまり知らない
ので、常に発信していくことが大切

4 今後の取組

（1）いじめの「未然防止」の充実

- ・「いじめを許さない」教職員の姿勢を明確にし、安心安全に生活できる学校をつくることを示すため、年度当初にすべての学級・ホームルームにおいて、いじめ問題に焦点をあてた授業を実施
- ・県立学校に「いじめ防止委員会」を新たに設置し、すべての校種で児童生徒が主体的にいじめ防止に取り組む活動を支援

（2）いじめの「早期発見・対応」の徹底

- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく組織的な対応等、教職員一人一人のいじめ防止に向けた指導力向上のための研修を実施